

## グローバルCBオープン・ 円コース

追加型投信／海外／債券

第47期末（2015年11月19日）	
基準価額	9,313円
純資産総額	16,535百万円
第42期～第47期	
騰落率	△6.7%
分配金合計	300円

\*騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

第42期 2015年6月19日決算 第43期 2015年7月21日決算  
 第44期 2015年8月19日決算 第45期 2015年9月24日決算  
 第46期 2015年10月19日決算 第47期 2015年11月19日決算  
 作成対象期間（2015年5月20日～2015年11月19日）

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「グローバルCBオープン・円コース」は、このたび、第42期から第47期の決算を行いました。

当ファンドは、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

#### <閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名で検索」にファンド名を入力⇒該当のファンドを選択⇒「運用実績・レポート」を選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

ホームページアドレス <http://www.daiwasbi.co.jp/>  
お問い合わせ先

受付窓口：（電話番号）0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで（土、日、祝日除く。）

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

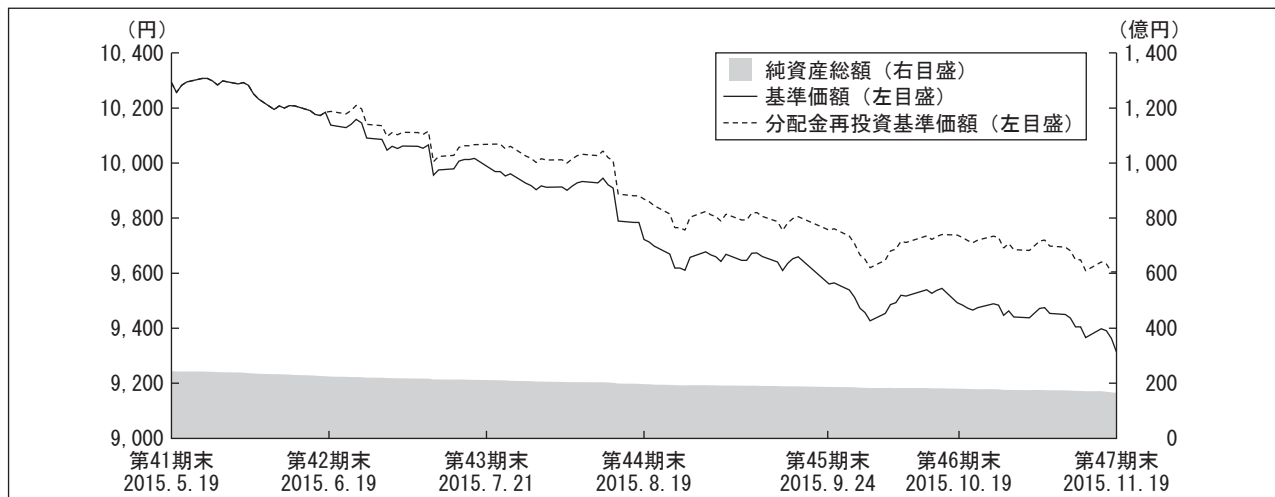


## 大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

## 運用経過

## 【基準価額等の推移】



\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第42期首：10,292円

第47期末：9,313円（作成対象期間における期中分配金合計額 300円）

騰落率：△6.7%（分配金再投資ベース）

## 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、Global Convertible Bond Fund JPY Classへの投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象としました。

（上昇要因）

米国が2015年9月に利上げを見送ったことや、欧州中央銀行（ECB）が追加緩和を実施する可能性を示唆したことなどが金利の低下を促し、CBにプラスに働いたことが上昇要因となりました。また、8月から9月にかけて大きく下落した株式や社債などのリスク資産が10月以降は反発し、CBの相場もこの動きに追随したことも上昇要因となりました。さらに、クーポンの高いCBでの利息収入もプラスに貢献しました。

（下落要因）

中国人民元が実質的に切り下げられたことや中国株式市場が乱高下したことなどにより、新興国の株式市場などがリスク回避的な動きから下落が続き、さらに高利回りの低格付け債が下落したことが下落要因となりました。

## 【1万口当りの費用明細】

項目	第42期～第47期		項目の概要
	2015年5月20日～2015年11月19日		
	金額	比率	
信託報酬	52円	0.529%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は9,808円です。
(投信会社)	(19)	(0.190)	ファンドの運用等の対価
(販売会社)	(32)	(0.326)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.014)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.004	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	52	0.533	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

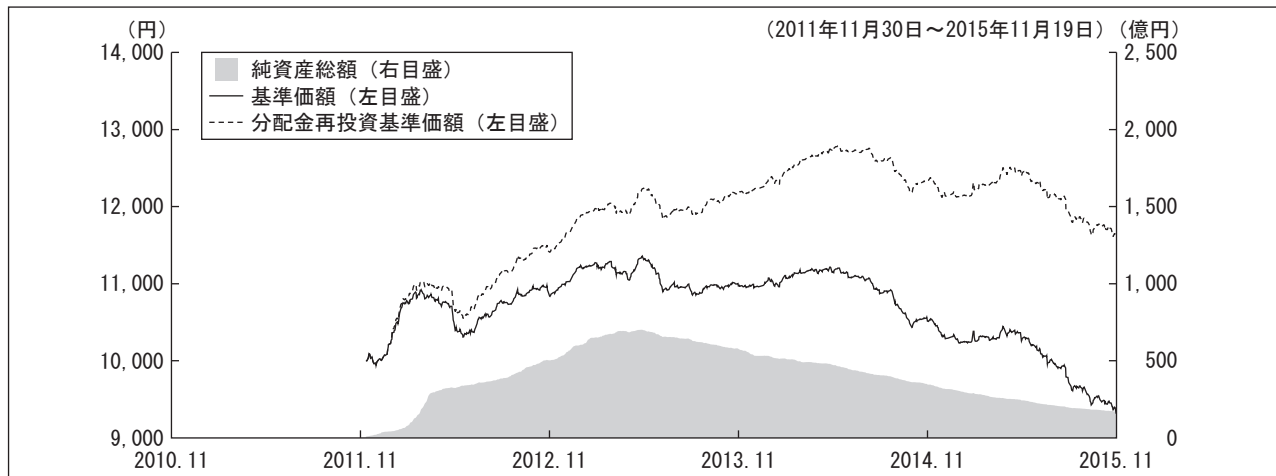
\* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 【最近5年間の基準価額等の推移】



\*当ファンドの設定日(2011年11月30日)より表示しております。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2011年11月30日 設定日	2012年11月19日 決算日	2013年11月19日 決算日	2014年11月19日 決算日	2015年11月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,838	10,969	10,515	9,313
期間分配金合計(税込み) (円)	—	550	600	600	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.1	6.8	1.3	△ 6.0
純資産総額 (百万円)	840	50,248	57,667	34,654	16,535

## 【投資環境】

当作成期のグローバルCB市場は価格変動が大きくなり、波乱含みの展開となりました。ギリシャのユーロ離脱危機や中国人民元の実質的な切り下げ、米国の一部経済指標が弱含んだこと、世界的な経済成長への懸念などが、市場にマイナスの影響を及ぼしました。さらに、地政学リスクの高まり、ドイツ大手自動車メーカーの排ガス試験の不正問題や原油価格の継続的な下落、ブラジルやトルコでの政情不安などによりリスク資産のボラティリティが高まりました。世界の株式市場は特に8月から9月にかけて大きく下落し、その後、米国株式市場は急反発してほぼ下落分を取り戻しましたが、欧州株式市場や新興国株式市場は十分に回復しませんでした。社債市場も主要国の国債利回りの低下に下支えされましたが、リスク回避的な動きが強まる中で全般的に軟調な動きが続きました。このような環境下で、グローバルCB市場も軟調に推移しました。

国内短期金融市場では、短期金利が0%付近を安定的に推移した後、作成期末にかけてマイナスに推移しました。海外投資家からの短期国債に対する需要の強まりが短期金利を押し下げる主な要因となりました。作成期首0%付近で始まった3ヵ月国債利回りは作成期末に-0.1%付近まで低下しました。

## 【ポートフォリオ】

### ■グローバルCBオープン・円コース

主要投資対象であるGlobal Convertible Bond Fund JPY Classを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の投資信託証券組入比率は98.6%としました。

### ■Global Convertible Bond Fund JPY Class

当作成期はキャッシュ等の比率を高めとし、CB市場などの下落による影響をできるだけ抑えるよう努めました。株価の変動が大きかったことや、景気減速に対する懸念、資源価格の下落による影響を受けやすいとの見方から、北米およびアジア・オセアニア地域への投資比率を減らしました。個別銘柄では、南アフリカの家具メーカーであるシュタインホフ・インターナショナルへの投資がプラスに寄与しました。一方、インドの自動車部品製造会社のカステックス・テクノロジーズへの投資がマイナスに作用しました。CBを株式へ強制転換する意向を同社が発表したことで下落しました。

### ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債中心による運用を継続しました。年限に関しては、6ヵ月以内の短期の国債を中心とした運用を継続しました。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

## 【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第42期～第47期の各期において50円とさせていただきます。(1万口当り税込み)

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期
	2015年5月20日 ～2015年6月19日	2015年6月20日 ～2015年7月21日	2015年7月22日 ～2015年8月19日	2015年8月20日 ～2015年9月24日	2015年9月25日 ～2015年10月19日	2015年10月20日 ～2015年11月19日
当期分配金 (円)	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率) (%)	0.49	0.50	0.51	0.52	0.52	0.53
当期の収益 (円)	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,518	1,531	1,544	1,555	1,571	1,585

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■グローバルCBオープン・円コース

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

### ■Global Convertible Bond Fund JPY Class

10月以降、グローバルCB市場は反発しましたが、反発後においてもCBの価格水準は引き続き魅力的であると考えています。主要国の国債との金利差の水準は、想定を大幅に上回るデフォルト率を織り込んでおり、この点からもCBの相場は割安であると見ています。また、緩やかな景気回復と低金利環境は株式市場にとっても支援材料になると見ており、CB市場の追い風になると期待されます。このような市場環境を背景に、中長期的にはCBに対して前向きな見通しを維持しており、引き続き投資銘柄を厳選して投資を行う方針です。

### ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

## お知らせ

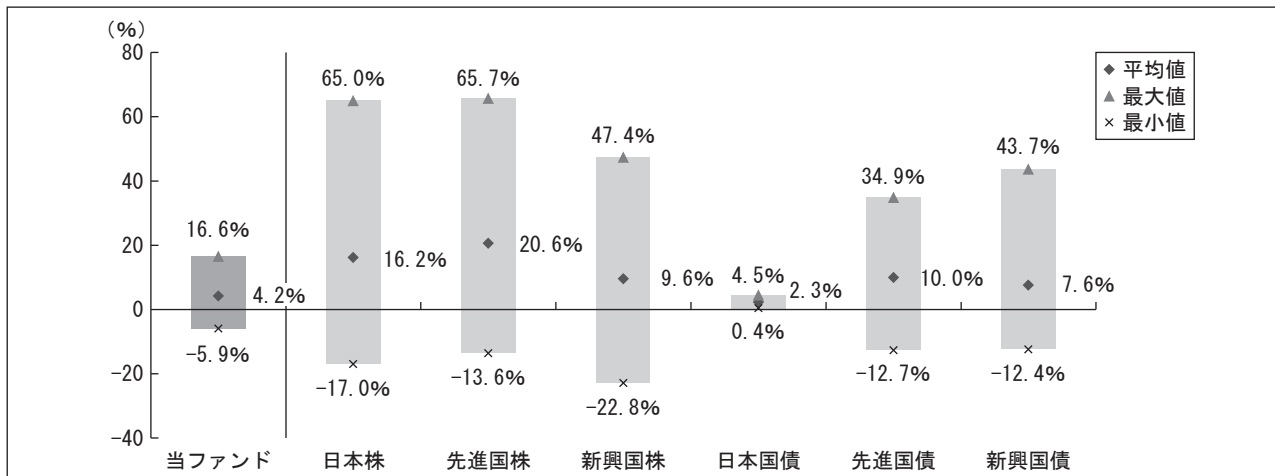
該当事項はございません。

## 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月30日～2021年11月19日（約10年）	
運用方針	主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Global Convertible Bond Fund JPY Class受益証券</li> <li>・キャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券</li> </ul>
	Global Convertible Bond Fund JPY Class	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の転換社債（CB）</li> <li>・為替取引の活用</li> </ul>
	キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。</li> <li>・外国投資信託証券への投資比率は、原則として高位を保ちます。</li> <li>・銘柄の選定に当たっては、市場平均よりも相対的に利回りの高い銘柄を中心に、企業の信用力分析や株式価値等を総合的に勘案して銘柄を選定します。</li> <li>・原則として保有する外貨建資産に対し、米ドル売り、円買いの為替取引を行う外国投資信託証券に投資します。</li> </ul>	
分配方針	<p>毎月19日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

## 【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2012年11月～2015年10月  
 代表的な資産クラス：2010年11月～2015年10月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

\*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

\*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

### <各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	Citigroup Index LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。



## 当該投資信託のデータ

## 《当該投資信託の組入資産の内容》

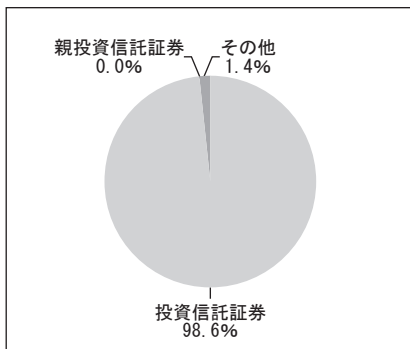
## 【組入ファンド】

	第47期末 (2015年11月19日)
	組入比率
Global Convertible Bond Fund JPY Class	98.6%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.0%

\*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## 【資産別配分】

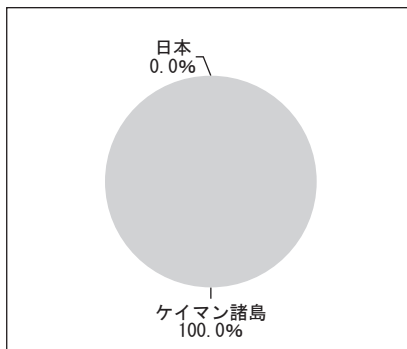
(2015年11月19日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

## 【国別配分】

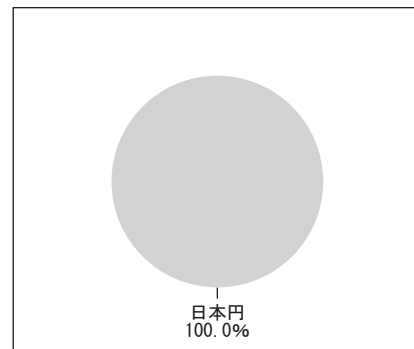
(2015年11月19日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

## 【通貨別配分】

(2015年11月19日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

## 【純資産等】

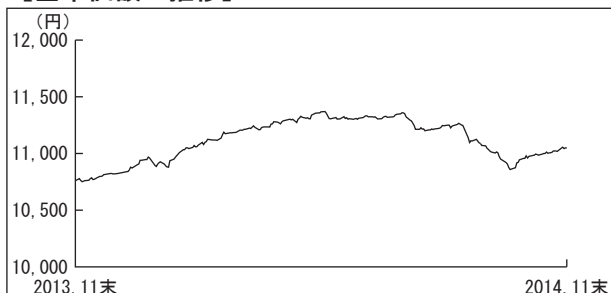
項目	第42期末	第43期末	第44期末	第45期末	第46期末	第47期末
	2015年6月19日	2015年7月21日	2015年8月19日	2015年9月24日	2015年10月19日	2015年11月19日
純資産総額	22,420,066,386円	21,131,813,319円	19,670,024,777円	18,665,171,458円	18,032,641,512円	16,535,140,172円
受益権総口数	22,115,185,076口	21,197,680,478口	20,231,554,676口	19,522,153,695口	18,995,745,042口	17,754,649,363口
1万円当り基準価額	10,138円	9,969円	9,722円	9,561円	9,493円	9,313円

\*当作成期間中における追加設定元本額は94,556,004円、同解約元本額は6,091,524,022円です。

《組入ファンドの概要》

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

【基準価額の推移】



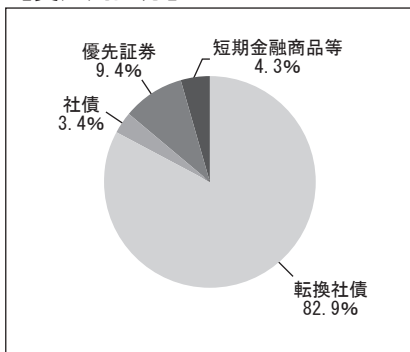
\*上記グラフは、基準価額に分配金を分配時に再投資したものと表示しております。

Global Convertible Bond Fund

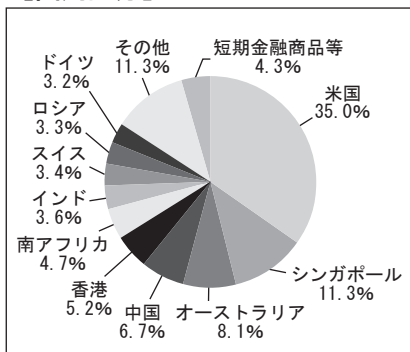
【1万口当りの費用明細】

費用については、開示されていないため、掲載していません。

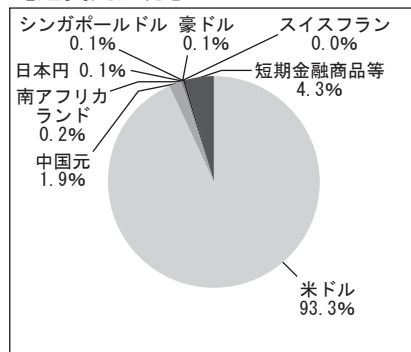
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



【組入上位銘柄】

銘柄名	国名	クーポン	償還日	業種名	比率
1 BANK OF AMERICA CORP	米国	7.250%	2049/12/31	銀行	5.4%
2 SINA CORP	中国	1.000%	2018/12/1	ソフトウェア・サービス	4.9%
3 CAPITALAND LTD	シンガポール	1.850%	2020/6/19	不動産	4.9%
4 NOVION PROPERTY GROUP	オーストラリア	5.750%	2016/7/4	不動産	4.6%
5 WELLS FARGO & CO	米国	7.500%	2049/12/31	銀行	4.1%
6 PROSPECT CAPITAL CORP	米国	4.750%	2020/4/15	各種金融	4.0%
7 PALADIN ENERGY LTD	オーストラリア	3.625%	2015/11/4	エネルギー	3.5%
8 ARES CAPITAL CORP	米国	4.375%	2019/1/15	各種金融	3.5%
9 CSG GUERNSEY IV LTD	スイス	7.125%	2017/3/22	各種金融	3.4%
10 LIBERTY INTERACTIVE LLC	米国	3.500%	2031/1/15	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.4%

(組入銘柄数 36銘柄)

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は2014年11月末現在のGlobal Convertible Bond Fundの純資産総額に対する比率です。

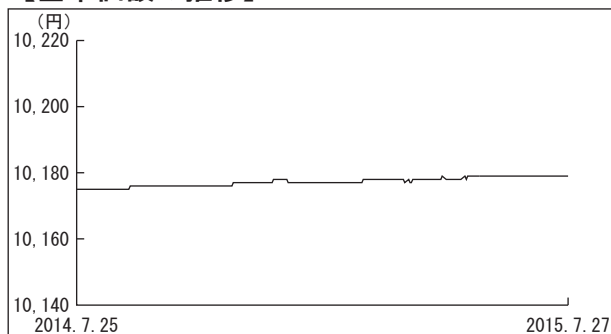
※ 組入上位銘柄における業種名は世界産業分類 (GICS) です。

※ 当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のGlobal Convertible Bond Fundの情報を記載しております。

※ 詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

※ 上記はブルーベイ・アセット・マネジメント・エルエルピーから提供されたデータに基づき作成しております。

## ■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 【基準価額の推移】



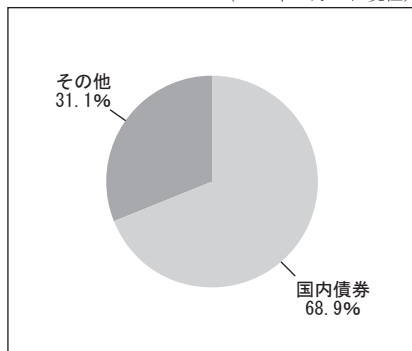
## 【1万口当りの費用明細】

(2014年7月26日～2015年7月27日)

当期中に発生した費用はありません。

## 【資産別配分】

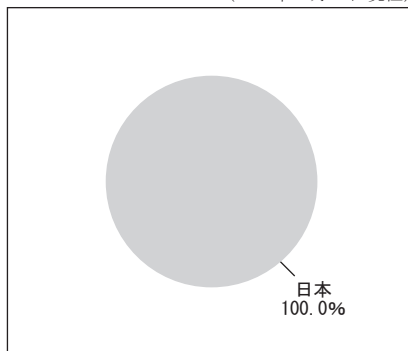
(2015年7月27日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

## 【国別配分】

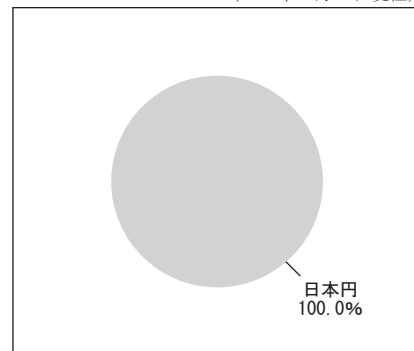
(2015年7月27日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

## 【通貨別配分】

(2015年7月27日現在)



\*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

## 【組入上位銘柄】

(2015年7月27日現在)

銘柄名	比率
1 332 2年国債	13.8%
2 333 2年国債	11.8%
3 336 2年国債	9.8%
4 535 国庫短期証券	9.8%
5 335 2年国債	7.9%
6 21 トヨタファイナンス	2.0%
7 388 九州電力	2.0%
8 376 東北電力	2.0%
9 32 共同発行地方	2.0%
10 38 野村ホールディングス	2.0%

(組入銘柄数 13銘柄)

\*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。



世界に通用する質の高い  
資産運用会社を目指します